令和６年度北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻

前期入学試験　実技検査（アイデア・プラン）問題

注意事項

１　_試験開始の合図があるまでは，この問題冊子を開かないこと。

２　_この問題用紙は，1ページ，解答用紙は2枚(両面)，下書き用紙は2枚あります。

３　_受験番号・氏名は，解答用紙の指定欄(2箇所)に記入すること。

４　_解答用紙2枚を提出し，問題用紙・下書き用紙は，試験終了後持ち帰ること。
なお，いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。

５　_試験中に，問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は，手を挙げて監督者に知らせること。

問題

2022 年度の総務省の通信利用動向調査によると、全国でのスマートフォンの保有状況は世帯での保有割合が 90.1%となり、個人の保有割合も 77.3%となっています。また、インターネット利用者の割合も全体で 84.9%であり、13 歳～59 歳の各年齢階層では利用者が 9 割を超えているという結果が出ました。

端末を駆使し、インターネットを通じて様々な情報を入手することで世の中が大変便利になる一方で、端末機器の過剰使用による睡眠不足などの身体への影響や、SNS への依存による精神的な影響など、様々なデメリットについても明らかになってきています。

人々の身体的・精神的・社会的健康を守るために、情報通信技術（情報端末やインターネット等）を適切に利用することが重要とされています。

そこで、適切な情報通信技術の利用について幅広く啓発する、あるいはそれを促すために芸術・スポーツを活用した取り組み※を考え、解答用紙に具体的なアイデア・プランとしてまとめてください。取り組みに何らかのイベントが必要であれば、解答用紙の番号⑦・⑧・⑨・⑩・⑪でわかるように記述してください。

※芸術を活用した取り組み、スポーツを活用した取り組み、芸術とスポーツを融合させた取り組みの中から一つの形態を選ぶこと

令和６年度　入学試験問題　　実技検査（アイデア・プラン）問題
岩見沢校　芸術・スポーツビジネス専攻　前期　解答用紙

氏名：
受験番号：

①　取り組みの名称：
②　デジタル機器使用によるメリットとデメリット：
③　②を踏まえたうえでの、この取り組みの目的：
④　取り組みの対象範囲（地域・年齢など）：
⑤　取り組みの主な実施者・実施団体及び役割：
⑥　取り組みへの協力・連携が期待できる団体（公共機関、企業）など：

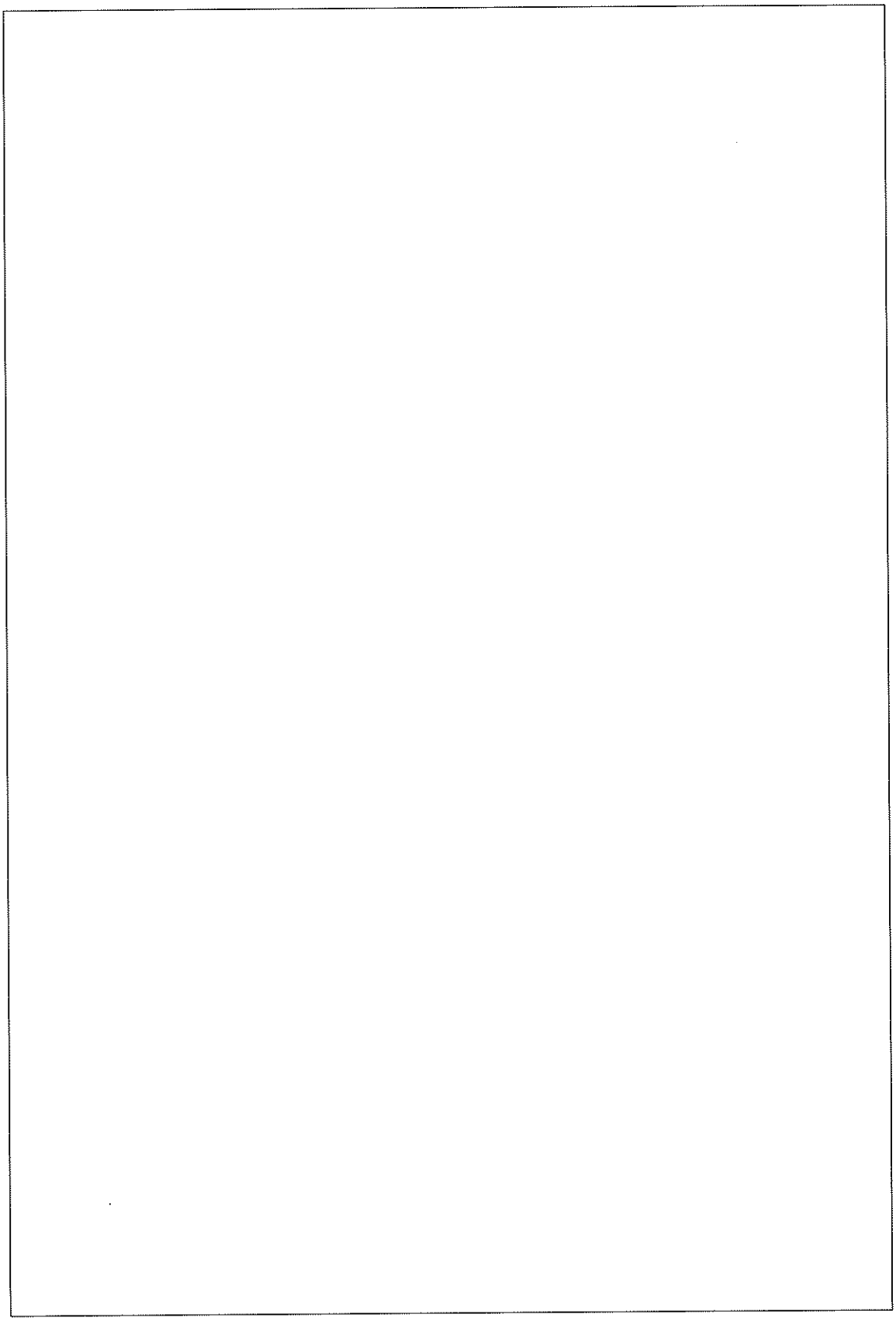
⑦　取り組みにより想定される効果・影響：

⑧　取り組みの実施時期・期間（イベント開催の場合は人数も記載すること）：

⑨　取り組み開始から期間中までのスケジュール：

⑩　中長期的に取り組みを継続させるアイデア：

氏名：
受験番号：

⑪　取り組みの具体的内容（自由記載　図や表を用いてもよい）：

裏面に続く